

## 都留文科大学長の退任

昭和五十二年十二月三日、学長に就任以来六年間大学発展のため貢献された、大田堯学長が昭和五十八年十二月二日付任期満了により退任されました。

なお、次期学長に立教大学の  
上田薫氏が内定され就任ま



## 名残り惜しまれる 大田学長のさよなら講演

去る11月22日文化会館において、山梨教育推進事業の一環として開催した「明るい家庭づくり推進大会」での都留文科大学学長大田 堯先生の講演には、市民約300名が聴講し盛会のうちに終了しました。

この講演は、大田学長の任期満了による都留市におけるさよなら講演で、「若者と共に生きる」と題し、教育の原点、在り方など教育の重要性を強く説かれました。

講演が終った後には、聴講者全員が拍手で送り、大田先生を見送る目にはキラリと光るものがあり、その別れを名残り惜しんでいました。

での間は、学長事務代理として、本学の近藤幹雄教授が代行します。

そこで、都留市を去るにあたって、大田学長より市民の皆様さんにお別れのお言葉をいただきました。

### 想い出多い

#### 都留市をあとに

た山梨県、そして都留市の大学での仕事は、私の六十余年の生涯の中でも、もっとも深い印象を残すことになりました。戮力のため、思いの何分の一かを果すにすぎませんでしたし、それに教育という仕事はそれがほんとうに全国から集まってきた若ものたち、そして都留市民にお役に立ち得たのかどうかの判断もむずかしいのであります。

早いもので、ご縁あって都留文科大学にお世話になってから、満六年になりました。これが学長として務める最大限の任期でありまして、私は去る十二月二日、思い出の多い都留市と都留文科大学にお別れいたしました。

それまで思ってもみなかった

たしかに多くの失敗もあつたにちがひありません。けれども、私としましては、この六年間を私の良心を燃して取り組むことが出来たという確信はあります。

ともあれ、どうか任期を満了し得たのは、都留市民、議会および市当局のご理解と

### 明るい家庭づくり

#### 標語入選作品の発表

ご好意のお支えによるものであることは申すまでもありません。市長さんをはじめ、都留市民すべての方々にご心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

みなさまお一人おひとりのご健康とご繁栄をお祈りすると共に、都留市のこれからの発展を心から期待するものです。ではさようなら。

大田 堯

- 家族だんらん明るい会話 宝小六年 田辺裕美
- 今日のできごと明日の反省 谷一小六年 相川裕樹
- よい家庭ひとりひとりがいやいやり 東小六年 武藤智子

○ ごめんねといひあう心が明るい家庭 附属小五年 宮沢智子

○ おはようの笑顔がつくる明るい家庭 谷二小六年 吉田絵里加

○ つみましよう親と子供で非行の芽 禾一小六年 山本英里果

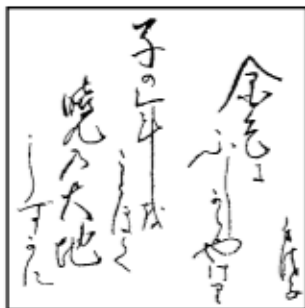
○ 笑顔でおはよう明るい門出 旭小六年 小幡美知子

○ 朝起きて一人一役楽しい我が家 都留二小五年 浅村由美

○ 家族でつくりよう団らんの和 都留一中二年 稀代英子

○ 親子でも大事な一言ありがとう 都留二中三年 角田 洋

○ 思いやり笑顔の中に家族の輪 東中二年 野沢美栄



金色に ふじかがやけり  
子の年を ことほぐ  
暁の大地 しずかに